

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 12 週 (2026/3/16~3/22) 感染症発生動向調査速報値 (2026/3/25 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **864** 人、定点医療機関当たり **18.38** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

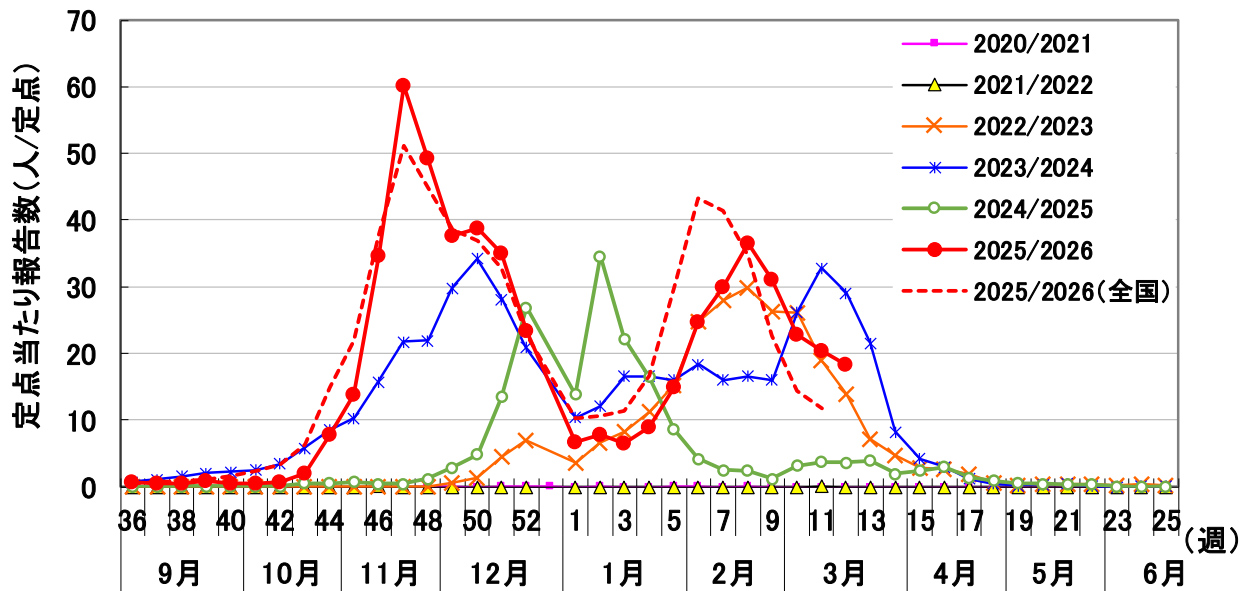
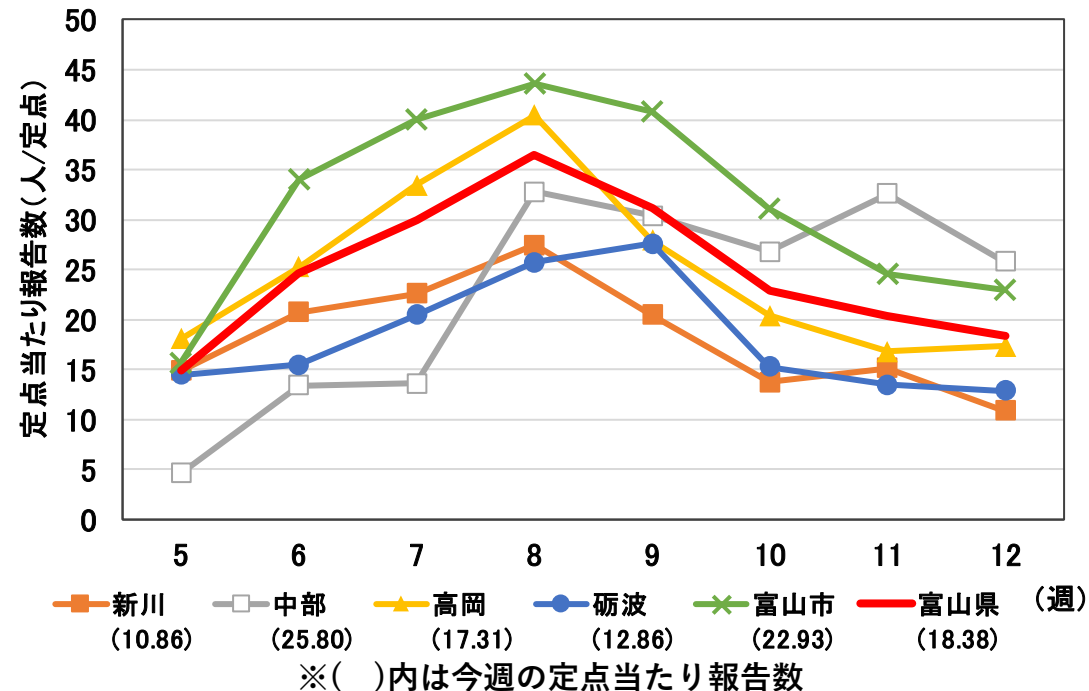
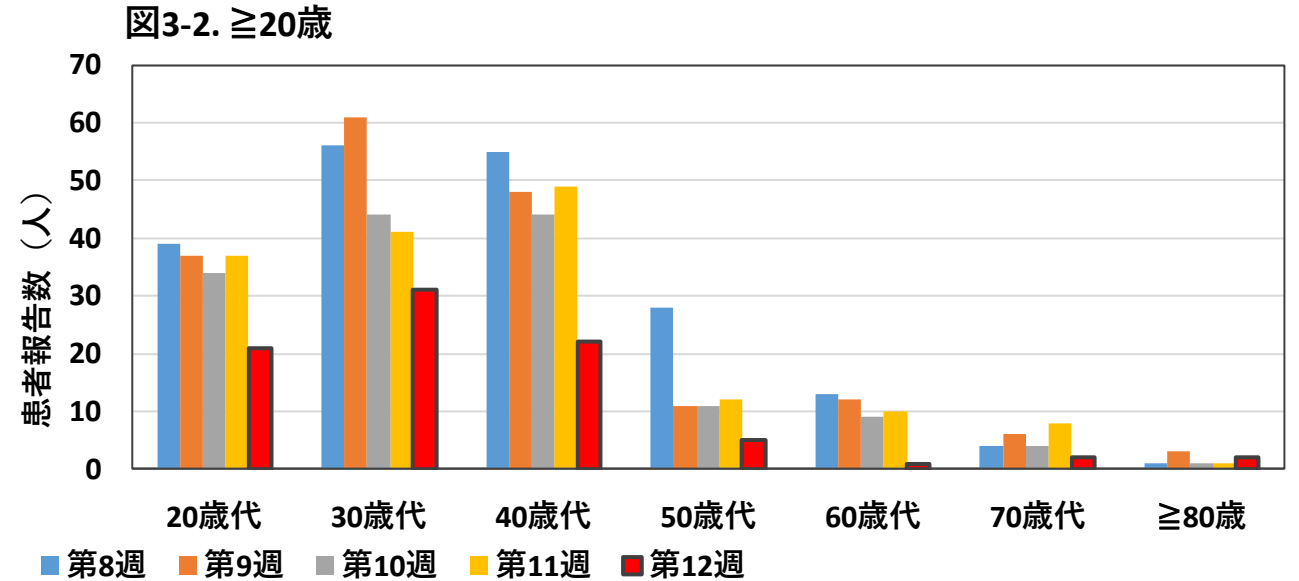
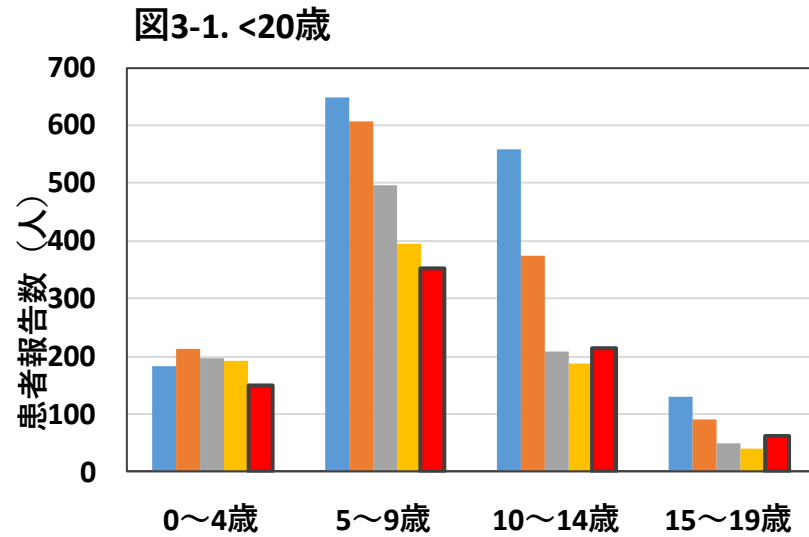


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週18.38人/定点となり、先週 (20.29人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、高岡管内を除くすべての管内で先週から減少した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10歳代、80歳以上で先週から増加した一方、その他の年代では先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第11週)

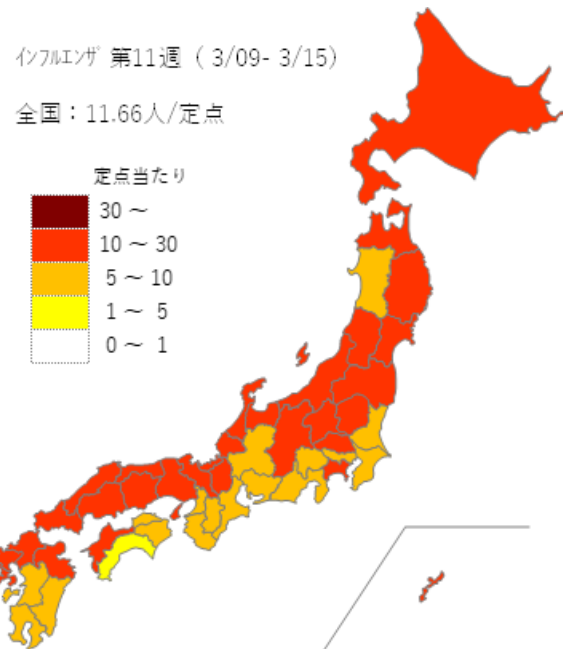


図5. インフルエンザ入院サーベイランス

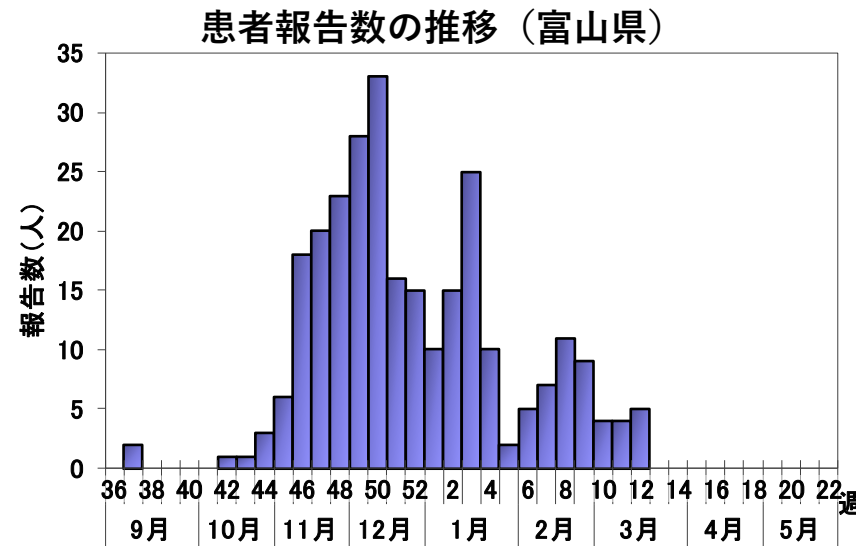
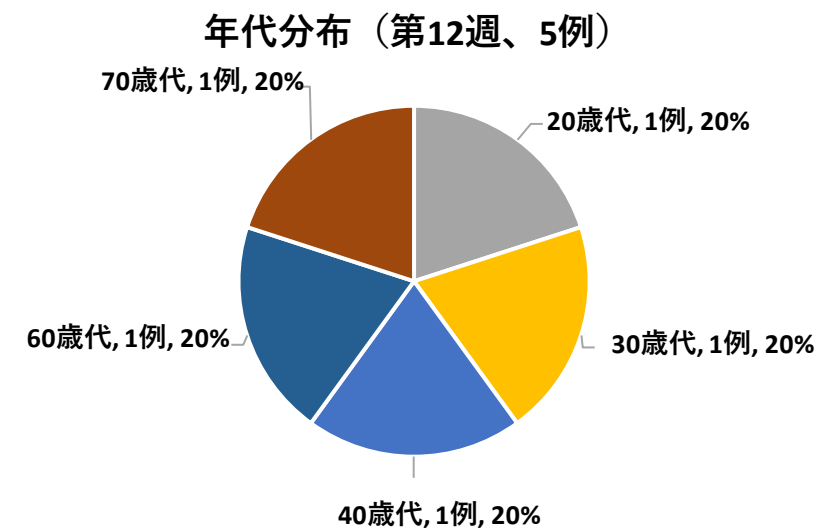


図6. インフルエンザ入院サーベイランス



- 全国では第11週に11.66人/定点となり、第10週 (14.34) から減少した。都道府県別では、29道府県で警報レベルの終息基準である10.0人/定点を超えている (図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週5例の報告があり、先週 (4例) から増加した (図5)。
- 入院患者の年代は、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代、70歳代が各1例で、年代に偏りはなかった (図6)。
- 第12週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が12件 (小学校7件、中学校3件、高等学校2件) あった ([富山県インフルエンザ関連情報](#))。
- 県内の患者報告数は減少傾向にある。B型の検出割合は89.7% (第10週88.7%) と依然多くを占めており ([富山県感染症発生動向速報2026年第12週](#))、引き続き発生動向を注視する必要がある。